

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 (商品名) : SS-UV CURE LED プロセス 紅

会社 : 設楽印刷機材株式会社  
住所 : 〒379-2166 群馬県前橋市野中町158-1

電話番号 : 027(261)7000  
FAX 番号 : 027(261)7700  
緊急連絡先 : 027(261)7000

推奨用途  
及び使用上の制限 : 印刷用インキ (紫外線硬化型)  
整理番号 : ACLED02

### 2. 危険有害性の要約

GHS 分類  
物理化学的危険性 : 情報なし  
健康に対する有害性 : 急性毒性 (経口) 区分外  
: 急性毒性 (経皮) 区分外  
: 急性毒性 (吸入・ミスト) 分類対象外  
: 皮膚腐食性/刺激性 区分2  
: 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分2B  
: 皮膚感作性 区分1  
: 発癌性 区分外  
: 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) 区分2 (肺)  
: 特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) 区分1 (肺) (皮膚)

環境に対する有害性 : 情報なし  
上記で記載の無いものは、分類できない/分類対象外

GHS ラベル要素

絵表記 : 

注意喚起語 : 危険  
危険有害情報 : H315 皮膚刺激  
: H320 眼刺激  
: H317 アレルギー性皮膚反応を起すおそれ  
: H371 臓器 (肺) の障害のおそれ  
: H372 長期または反復暴露による臓器 (肺・皮膚) の障害  
: 該当なし

成分情報  
注意書き : P264 取扱後は手をよく洗う事。  
安全対策 : P280 保護手袋/保護衣 /保護眼鏡 /保護面を着用する事。  
: P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける事。

緊急措置 : P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない事。  
: P302/352 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗う事。  
: P332/313 皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断 /手当てを受ける事。  
: P305/351/338 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う事。  
: 次ぎにコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す事。  
: その後も洗浄を続ける事。  
: P337/313 眼の刺激が続く場合 : 医師の診断 /手当てを受ける事。  
: P333/313 皮膚刺激または発疹が生じた場合 : 医師の診断 /手当てを受ける事。  
: P309/311 暴露したとき、または気分が悪い時 : 医師に連絡する事。  
保管 : P403/233 換気良好な場所で容器は密閉して保管する事。  
廃棄 : P501 内容物・容器等の製品付着物は関係法令に従い廃棄する事。

### 3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物				
学化名／一般名		官報公示	通知対象	CAS No
PigmentRed57:1	15-20	(化) (5)-3244	—	5281-04-9
感光性樹脂	30-35	(化) 登録有	—	登録有
感光性モノマー	30-35	(化) (9)-2024	—	94108-97-1
光重合開始剤	5-10	(化) 登録有	—	登録有
その他	5>	(化) 登録有	—	登録有

官報公示：(化) 化審法      通知対象：(安) 労働安全衛生法

### 4. 応急措置

- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗い流し、眼科医の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服や靴等の汚れを落とした後、付着または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。  
皮膚に炎症やかゆみを生じた場合は、医師の手当てを受ける。
- 吸入した場合 : ミストを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し休息させる。  
水でうがいをさせ、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口内を洗い、直ちに医師の手当てを受ける。
- 医師に対する注意事項 : 直ちに医師の診断を受け、MSDSに記載された注意事項を示す。

### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 泡、乾燥砂、霧状強化液
- 周辺火災の場合 : 移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水し冷却する。
- 着火した場合 : 火元(燃焼源)を断ち適切な消火剤を用い風上から消火する。
- 消火を行う者の保護 : 火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、消火作業の際は必ず保護具を着用する事。

### 6. 漏出時の措置(関係法規に準拠して作業する。)

- 人体に対する注意事項 : 作業者は保護具(曝露防止措置及び保護措置の項を参照)を着用し風上で作業する。  
屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。  
漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物が河川、水路等公共水路に飛散ないように掃き集め容器に回収する。
- 除去方法(廃棄) : 回収した漏出物は廃棄上の注意に従って除去する。  
万が一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。
- 二次災害防止策 : 付近の着火源となるものは速やかに取り除く。

### 7. 取扱い及び保管上の注意(関係法規に準拠して作業する。)

- 取扱い : 容器は注意して取扱い皮膚、眼との接触を避ける。  
接触した場合は、直ちに多量の水で洗い医師の手当てを受ける。  
衣服等に付着した場合はその汚れを落とし、取扱い後は手洗いうがいを十分に行う。
- 技術的対策 : 静電気放電に対する予防措置を取る。
- 注意事項 : 取扱いは換気の良い場所で行い、局部排気装置の設置された場所で作業する。
- 保管 : 容器は密閉して換気良好な冷暗所に保存する。  
指定数量以上の場合は、火災予防条例に従う。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 該当物質を含まない。
許容濃度	: 情報なし。
設備対策	: 屋内作業場で使用の場合は発生源の密閉化、または全体換気装置を設置する。
保護具	: 防塵マスク、ゴム手袋、保護眼鏡、帯電防止性能を有する長袖の保護具衣及び安全靴を推奨する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外 観	: ペースト状
臭 気	: 特異臭 (油臭)
比 重	: 1.10~1.20 (25°C)
引火点	: 170°C
溶解度	: 水 難溶      有機溶剤 可溶

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 紫外線や熱と反応して重合する。
有害な分解生成物	: 燃焼により CO, NO <sub>x</sub> 等の有毒ガスが発生する。

## 11. 有害性情報

発癌性	: アレルギー皮膚反応を起すおそれがある。
その他	: 長期または反復暴露による臓器 (肺・皮膚) への障害がある。

## 12. 環境影響情報

生体蓄積性	: 情報なし
-------	--------

## 13. 廃棄上の注意

内部処理の場合	: 法令に従って残余廃棄物を回収、規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。
外部委託処理の場合	: 産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にする。

## 14. 輸送上の注意

国連分類・国連番号 安全対策及び条件	: 国連分類の定義上危険物に該当しない。 : 消防法の危険等級Ⅲに適應する運搬容器に収納し、梱包や袋が破れないように取扱う。
-----------------------	---

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	: 法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 名称等を通知すべき有害物 : 該当しない
化学物質管理促進法 (10/1 改定)	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 法第 9 条の 3、危険物規制令別表第 4 指定可燃物 可燃性固体類

## 16. その他の情報

- 参考文献
- : 製品安全データシート の作成指針 (改訂版) 社団法人  
日本化学工業協会発行
  - : 労働安全衛生法 MSDS 対象物質安全データ 化学工業日報社
  - : 既存化学物質安全性評価シート (点検データ) 独立行政法人  
製品評価技術基盤機構
  - : 独立行政法人 国立環境研究所データベース
  - : 中央労働災害防止協会データベース
  - : 原材料 MSDS
  - : ACGIH (2010)
  - : IARC (Vol. 1~81)

- \* 「製品安全データシート」は、一般的な工業的用途について「製品の適切な取扱い」を確保する為の参考情報として提供するもので、製造者の保証書ではありません。  
現時点で信頼し得る資料並びに測定等に基づき作成したものであり、これを参考として自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取下さる様お願い致します。